

様式第9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

| | | | |
|-----|---------|-------------|-------------|
| 地域名 | 構成市町村等名 | 計画期間 | 事業実施期間 |
| 夕張市 | 夕張市 | 平成23年度～27年度 | 平成23年度～27年度 |

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

| 指 標 | 現状 (割合※1) (平成21年度) | 目標 (割合※1) (平成28年度) A | 実績 (割合※1) (平成28年度) B | 実績 B /目標A | |
|------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------|--------|
| 排出量 | 事業系 総排出量 | 1,292 t | 1,088 t (-15.8%) | 1,185 t (-8.3%) | 108.9% |
| | 1事業所当たりの排出量 | 1.61 t | 1.06 t (-34.2%) | 1.15 t (-28.6%) | 108.5% |
| | 家庭系 総排出量 | 3,601 t | 2,534 t (-29.6%) | 2,213 t (-38.5%) | 87.3% |
| | 1人当たりの排出量 | 306kg/人 | 221kg/人 (-27.8%) | 256 kg/人 (-16.3%) | 115.8% |
| 合 計 事業系家庭系総排出量合計 | 4,893 t | 3,622 t (-26.0%) | 3,398 t (-30.6%) | 93.8% | |
| 再生利用量 | 直接資源化量 | 200 t ()% | 493 t (13.6%) | 262 t (7.7%) | 53.1% |
| | 総資源化量 | 200 t ()% | 639 t (17.6%) | 265 t (7.8%) | 41.5% |
| 熱回収量 | 熱回収量 (年間の発電電力量) | 0MWh | 0MWh | 0MWh | |
| 減量化量 | 中間処理による減量化量 | 0 t ()% | 146 t (4.0%) | 3 t (0.1%) | 2.1% |
| 最終処分量 | 埋立最終処分量 | 4,693 t ()% | 2,983 t (36.4%) | 3,133 t (33.2%) | 105.0% |

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

| 指 標 | 現 状 (平成21年度) | 目 標 (平成28年度) A | 実 績 (平成28年度) B | 実績 B /目標A | |
|----------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------|--------|
| 総人口 | 11,213 | 9,463 | 8,648 | — | |
| 公共下水道 | 汚水衛生処理人口 | 2,608 | 2,371 | 2,172 | 91.6% |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 23.3% | 25.1% | 25.1% | 100.0% |
| 集落排水施設等 | 汚水衛生処理人口 | 0 | 0 | 0 | 0.0% |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 合併処理浄化槽等 | 汚水衛生処理人口 | 2,541 | 2,205 | 2,260 | 102.5% |
| | 汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 | 22.7% | 23.3% | 26.1% | 112.0% |
| 未処理人口 | 汚水衛生未処理人口 | 6,064 | 4,887 | 4,216 | 86.3% |

2 各施策の実施状況

| 施策種別 | 事業番号 | 施策の名称等 | 実施主体 | 施策の概要 | 事業実施期間 (事業計画期間) | 施策の実績 |
|-------------------|------|-------------------------|------|---|--------------------|--|
| 発生抑制、再使用の推進に関するもの | 11 | 家庭ごみ排出抑制の推進 | 夕張市 | 過剰包装・使い捨て容器の購入自粛等 | H23-27 | 市民に意識が浸透していると判断する。 |
| | 12 | 教育・啓発活動の充実 | 夕張市 | パンフレット・施設見学会による啓発 | H23-27 | 平成27年度にパンフレット(ごみ分別辞典改訂版)を全戸配布した。 |
| | 13 | 集団資源回収の推進 | 夕張市 | 資源化活動の支援と情報提供 | H23-27 | 行政としての取り組みが不十分だったと認識している。 |
| | 14 | マイバック運動・レジ袋対策 | 夕張市 | 地域の小売店と連携し、マイバック運動とレジ袋削減を推進 | H23-27 | スーパー等のレジ袋有料により、買物客のマイバックが浸透している。 |
| | 15 | 事業系一般廃棄物の排出抑制 | 夕張市 | 分別の徹底と排出抑制の推進 | H23-27 | 引越しごみ等が多量に排出されたことから、計画未達成と判断する。 |
| 処理体制の構築、変更に関するもの | 21 | 分別区分の徹底 | 夕張市 | 最終処分量減量のため、容器包装廃棄物の分別収集等を推進 | H23-27 | 人口減少しているものの排出量が横ばいであることから、一定程度の成果があったと判断できる。 |
| 処理施設の整備に関するもの | 1 | 汚泥再生処理センター整備 | 夕張市 | 循環型社会形成推進交付金を活用し、し尿、浄化槽汚泥、生ごみを処理するための施設を整備する。 | H25-27 | 平成27年6月竣工、7月供用開始。 |
| | 2 | 合併処理浄化槽整備 | 夕張市 | 循環型社会形成推進交付金事業により、合併処理浄化槽の普及を図る。 | H23-27 | 民営アパートの建設が多く、浄化槽人口が増加し、汚水衛生処理率が向上した。 |
| 施設整備に係る計画支援に関するもの | 31 | 汚泥再生処理センター整備の計画支援 | 夕張市 | 汚泥再生処理センター整備にあたり、調査・設計等を行なう。 | H23-24 | 平成23年度から24年度に事前調査、環境影響調査、計画、設計等を行った。 |
| その他 | 41 | 行政による減量化・資源化、グリーン購入等の促進 | 夕張市 | 資源化が可能な商品の使用、公共施設の資源化ポスト設置、環境負荷の少ない商品の使用促進 | H23-27 | 行政としての取り組みが不十分であり、計画未達成と判断する。 |
| | 42 | 不法投棄対策 | 夕張市 | 監視体制の強化、住民啓発 | H23-27 | 行政としての取り組みが不十分であり、計画未達成と判断する。 |
| | 43 | 災害時の廃棄物処理に関する事項 | 夕張市 | 周辺自治体との連携体制の構築 | H23-27 | 平成24年11月26日、南空知4市5町による「南空知災害時相互応援に関する協定」を締結した。 |

3 目標の達成状況に関する評価

(1) 排出抑制、再使用の推進に関するもの

- ・ 家庭系一般廃棄物については、排出抑制に関しては市民の意識改革により排出抑制が図られたが、目標は未達成と評価する。
- ・ 事業系一般廃棄物については、住宅再編事業や高齢者を中心とした市外転出により引越しごみが多量に排出されたことから、計画未達成と評価する。

(2) 減量化・最終処分量について

- ・ 減量化、資源化については、行政としての取り組み不足もあり、計画未達成と評価する。
- ・ 最終処分量については目標を達成したと評価する。

(3) 処理施設の整備に関するもの

- ・ 汚泥再生処理センターの整備にあたっては、循環型社会形成推進交付金事業として平成 27 年度に竣工し、供用開始していることから、計画達成と評価する。
- ・ 合併処理浄化槽については、循環型社会形成推進交付金事業として整備しており、民営アパートが多く建築されたことから、浄化槽人口が増加し、汚水衛生処理率が向上しており、計画達成と評価する。
- ・ 未処理人口については、計画達成と評価する。

(4) 処理施設整備に係る計画支援に関するもの

- ・ 汚泥再生処理センターの整備にあたり、平成 23 年度から 24 年度に計画支援業務として、事前調査、環境影響調査、計画、設計等を行っており、平成 25 年度から整備事業を実施できたことから、計画達成と評価する。

(都道府県知事の所見)

ごみ処理の排出量については、総人口の減少の影響も有り、計画当初よりも減少し、家庭系の総排出量では目標を満足しているところですが、他の項目は目標を達成できませんでした。

また、夕張市は、排出抑制と再生利用により最終処分量の抑制を目指していますが、再生利用施設の活用が現れる総資源化量、市民や事業者の協力が必要な直接資源化量は、両方とも伸びていません。

今回の計画で整備した汚泥再生処理センターの活用と市民と事業者の協力を得る方策が必要と考えます。